

### 3 小規模な公園の再編

#### (1) 公園の再編の考え方

都市公園は、都市に必要な環境基盤として多くの生物の生息・生育の場となるとともに、都市住民の憩いの場、多様なレクリエーションの場、災害発生時の避難地や避難路、地域固有の美しい風景・景観の形成等に大きな役割を果たすために、これまで整備されてきました。しかし、社会状況は大きく変化しており、我が国では平成20年の約1億2,800万人をピークに人口減少社会に突入し、少子高齢化や地域的な人口の偏在も加速しています。また、都市公園をはじめとした社会資本の整備が進む一方、我が国の財政状況は1990年以降急速に悪化し、厳しい財政制約の中での社会資本の効率的な整備、管理が課題となっています。

本市においても、1980年以降の人口は減少傾向にあり、高齢化率も30%を超え、今後もこの傾向は続くと思われます。また建設から30年以上経過している公園が大半となり各施設の老朽化が進行しています。このように公園を取り巻く状況は大きく変化し、あり方や考え方の転換期が訪れています。さらに、国交省においても、都市公園の今後の方向性として、①「ストック効果をより高める」、②「民との連携を加速する」、③「都市公園を一層柔軟に使いこなす」の3つが示されています。

そのような背景の中、今後も良好な都市環境を市民に提供するためには、社会情勢の変化などから発生している公園の課題を解決するために、計画的に公園の再編を進めていく必要があります。

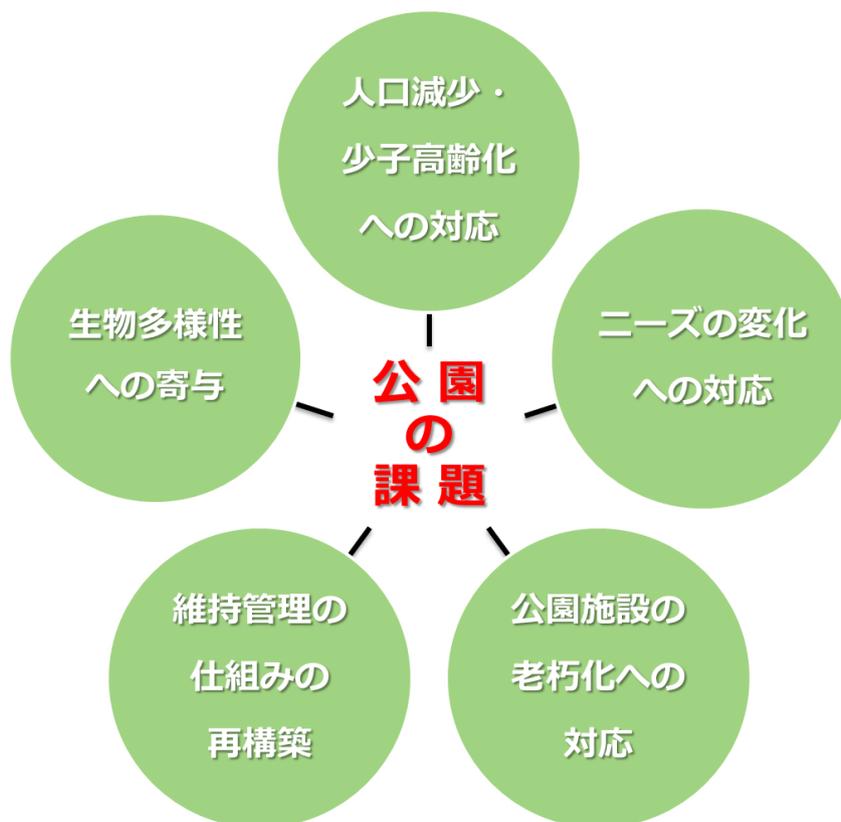
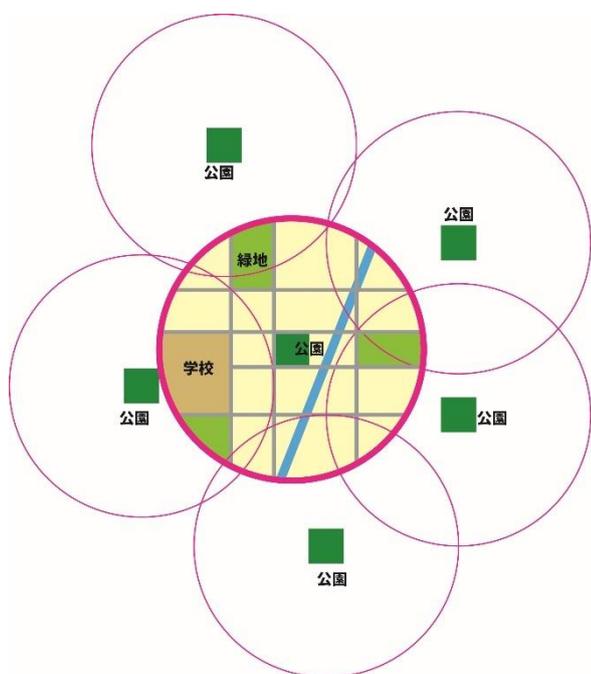


図 都市公園のおかれている課題のイメージ

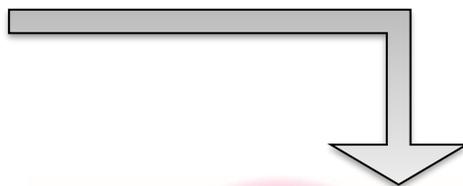
## (2) 公園の再編方針

小規模な公園の再編に向けた方針を設定します。

- 面積が小さく、機能も少ない公園が多くあり、統廃合も見据えてこれらの公園の機能をニーズに合致するものとします。
- 地区内全体で、休養・休息、子どもの健全な育成、健康運動、地域コミュニティ、動植物の生息などの様々な機能を果たすように機能の分担を図ります。
- 地区の将来人口の増減を踏まえ、機能の拡大や縮小を図ります。
- 高齢化率や年少人口率など地区や対象公園周囲の年齢構成を踏まえ、ニーズに合わせた機能の再編を図ります。
- 対象公園の周囲の土地利用状況や公共・公益施設等の立地状況を踏まえ、機能の再編を図ります。
- 人の利用だけでなく、地域の生態系にも配慮した公園の再編を目指します。

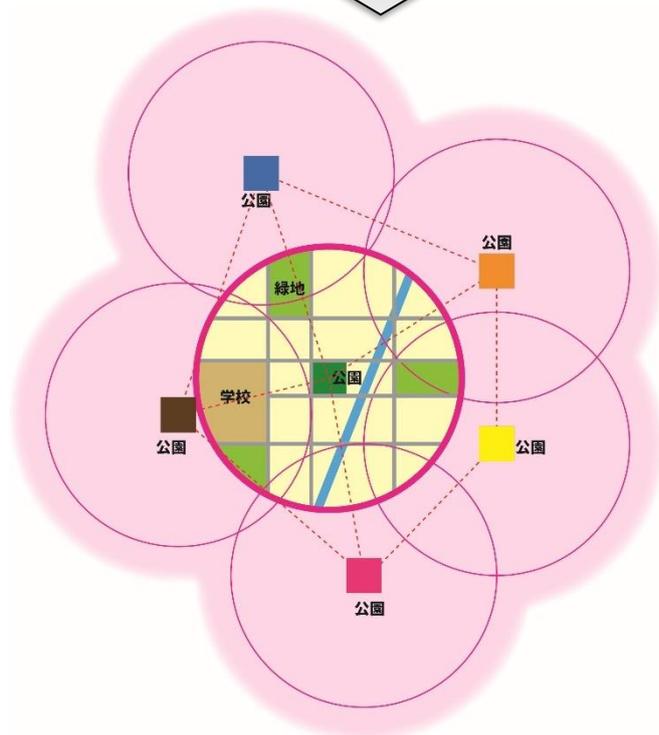


これまで公園単体で機能を発揮していましたが、



地区単位で公園を群として考え、各公園の立地状況などに応じて、機能を再配分することで、地区全体の公園の機能性の向上を図ります。

そのために、各公園の機能を定量的に把握、評価し、将来の方向性を踏まえて、検討していく必要があります。



### (3) 公園の再編手法

公園の配置状況や地区の課題を踏まえ、次の4つの手法により課題の解決を目指します。

公園再編パターン		イメージ
地区での再編	<b>公園の統廃合</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園の量を整理するとともに、公園機能の再配分を行い、魅力ある公園を創出します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の小規模公園を廃止し、一つのまとまった規模の公園に再編します</li> </ul>
	<b>施設の集約、機能分担</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園の量は変わらず、公園機能の再配分を行い、魅力ある公園を創出します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の公園に分散したスポーツ施設等を1ヶ所に集約し、利便性の向上だけでなく、維持管理費の節減、相互利用による施設運用の効率化を図ります</li> </ul>
公園単体での再生	<b>機能のリフレッシュ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>個々の公園の機能を変更し、機能の向上を図ります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民との意見交換等を行い、地域ニーズを十分に取り入れた再整備を行います</li> </ul>
	<b>施設の更新・改修</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用率が低い施設の廃止や老朽化した施設の更新により機能を維持します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の公園施設の配置状況から重複する機能の見直しを行い、施設の簡素化を含めた再整備を行います</li> </ul>

#### (4) エリア別 公園再編の方向性

本市では、公園サービスの提供を7つの協議会区分単位で検討し、公園再編の方向性を設定します。

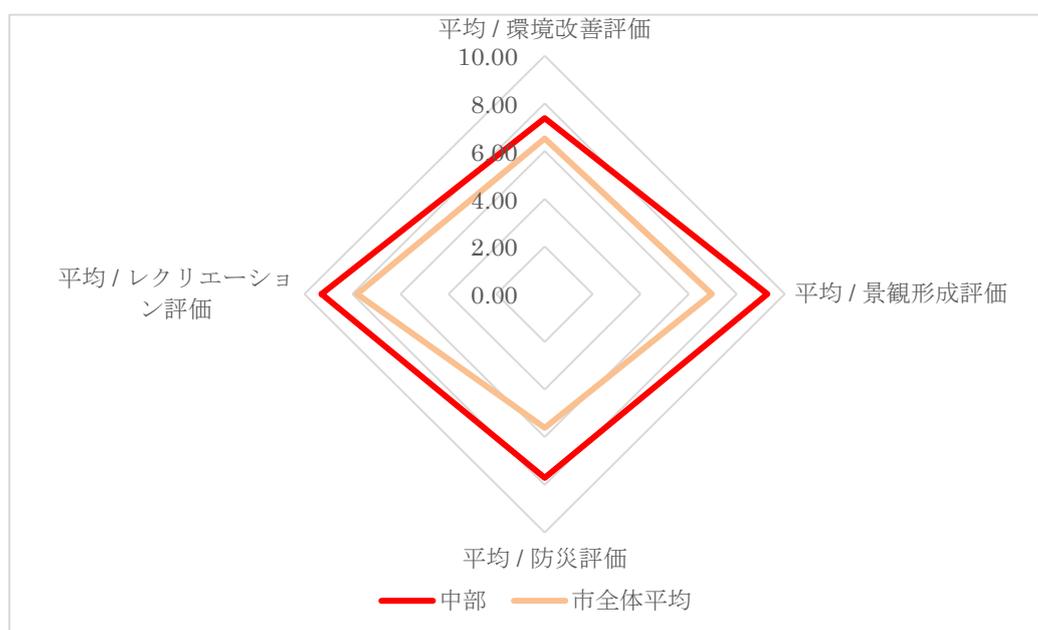
##### ■中部エリア

**公園の統廃合などの大規模な再編を行うことはせず、  
既存公園の適切な維持管理及び、質の向上を図ることを目指します**

中部エリアは、別府市市街地に位置し、人口が集積しているエリアです。実相寺公園が位置し一人あたり人口公園面積は10㎡/人を超えており、公園の重複率及び空白率も比較的低い状況です。

そこで、本エリアは、公園の統廃合などの大規模な再編を行うことはせず、既存公園の適切な維持管理及び、質の向上を図ることを目指します。

エリア面積 (ha)	361.1	都市公園面積 (ha)	20.67
人口 (人)	17,145	一人当たり公園面積 (㎡/人)	12.06
市街化区域内の住区基幹公園の面積カバー率	81%	市街化区域内の住区基幹公園の人口カバー率	84%
市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の面積カバー率	98%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の人口カバー率	99%
市街化区域内の住区基幹公園のカバー面積重複率	32%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園のカバー面積重複率	64%
住区基幹公園のカバー空白率	27%	住区基幹公園と都市基幹公園のカバー空白率	7%
14歳以下人口割合	11%	14歳以下人口一人当たりの公園面積 (㎡/人)	110.65



▼中部エリア公園リスト

	公園名	公園面積 (ha)	公園種別	開設年/ 最終整備年	経過年数
1	東荘園第1 幼児公園	0.02	開発	1972/5/25	53 年
2	東荘園第2 幼児公園	0.02	開発	1973/11/26	52 年
3	実相寺第1 幼児公園	0.01	開発	1977/4/20	48 年
4	緑丘第1 幼児公園	0.02	開発	1977/11/4	48 年
5	東荘園第3 幼児公園	0.01	開発	1980/5/1	45 年
6	緑丘第2 幼児公園	0.01	開発	1981/6/27	44 年
7	鶴見ヶ丘児童公園	0.24	街区公園	1982/3/31	43 年
8	境川児童公園	0.17	街区公園	1983/3/31	42 年
9	石垣児童公園	0.2	街区公園	1983/3/31	42 年
10	的ヶ浜公園	1.58	近隣公園	1983/3/31	42 年
11	東荘園児童公園	0.3	街区公園	1983/3/31	42 年
12	餅ヶ浜公園	0.32	街区公園	1983/3/31	42 年
13	緑丘第3 幼児公園	0.02	開発	1983/12/28	42 年
14	野口原公園	0.38	街区公園	1999/3/31	26 年
15	海門寺公園	0.39	街区公園	2011/3/31	14 年
16	北浜公園	0.64	近隣公園	2012/3/31	13 年
17	野口公園	0.59	街区公園	2012/3/31	13 年
18	実相寺中央公園	15.75	運動公園	2020/2/28	5 年
	合計	20.67ha			

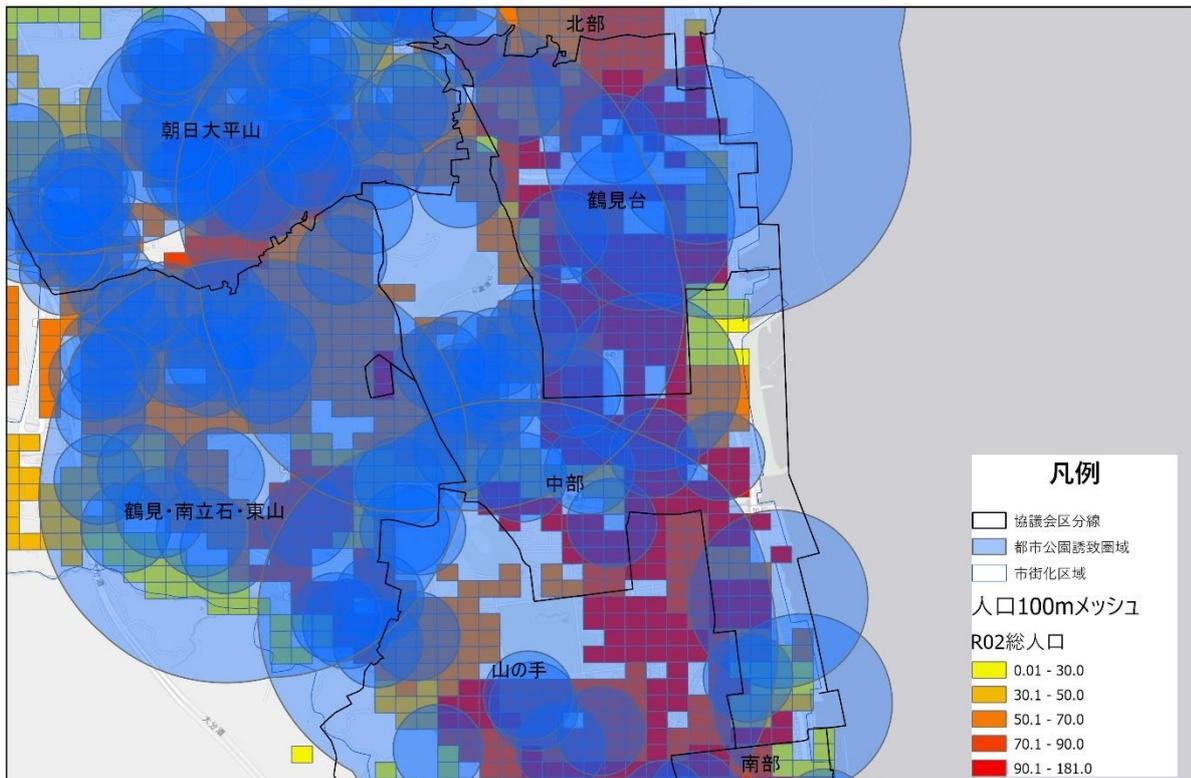


図 中部エリアにおける公園の誘致圏域カバー状況

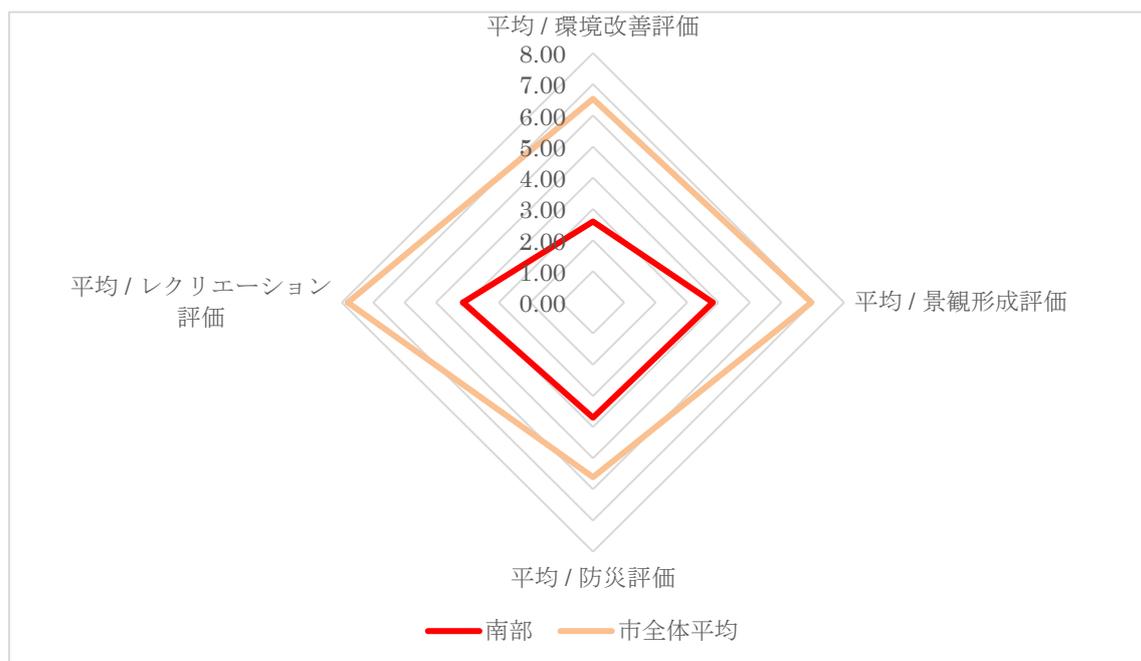
## ■南部エリア

**公園の統廃合などの大規模な再編を行うことはせず、  
既存公園の適切な維持管理及び、質の向上を図ることを目指します**

南部エリアは、エリアの中で人口が集積している沿岸部に公園が適切に配置されており、カバー空白率は高いですが、公園の配置は大きな問題はありません。しかし、一人当たり公園面積を見ると都市基幹公園がなく、全エリアで最も低い数字となっており、開発公園なども少ない状況です。

そこで、本エリアは、沿岸部の居住人口に対して公園の量を提供する必要があります。

エリア面積 (ha)	1467.0	都市公園面積 (ha)	2.41
人口 (人)	7,651	一人当たり公園面積 (㎡/人)	3.15
市街化区域内の住区基幹公園の面積カバー率	74%	市街化区域内の住区基幹公園の人口カバー率	74%
市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の面積カバー率	70%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の人口カバー率	77%
市街化区域内の住区基幹公園のカバー面積重複率	20%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園のカバー面積重複率	30%
住区基幹公園のカバー空白率	94%	住区基幹公園と都市基幹公園のカバー空白率	94%
14歳以下人口割合	8%	14歳以下人口一人当たりの公園面積 (㎡/人)	41.68



▼南部エリア公園リスト

	公園名	公園面積 (ha)	公園種別	開設年/ 最終整備年	経過年数
1	松原公園	0.37	街区公園	1983/3/31	42年
2	仲良公園	0.41	街区公園	1983/3/31	42年
3	浜脇公園	1.18	近隣公園	1983/3/31	42年
4	朝見川緑地	0.38	緑道	1991/3/31	34年
5	末広広場	0.07	その他	2008/3/31	17年
	合計	2.41ha			

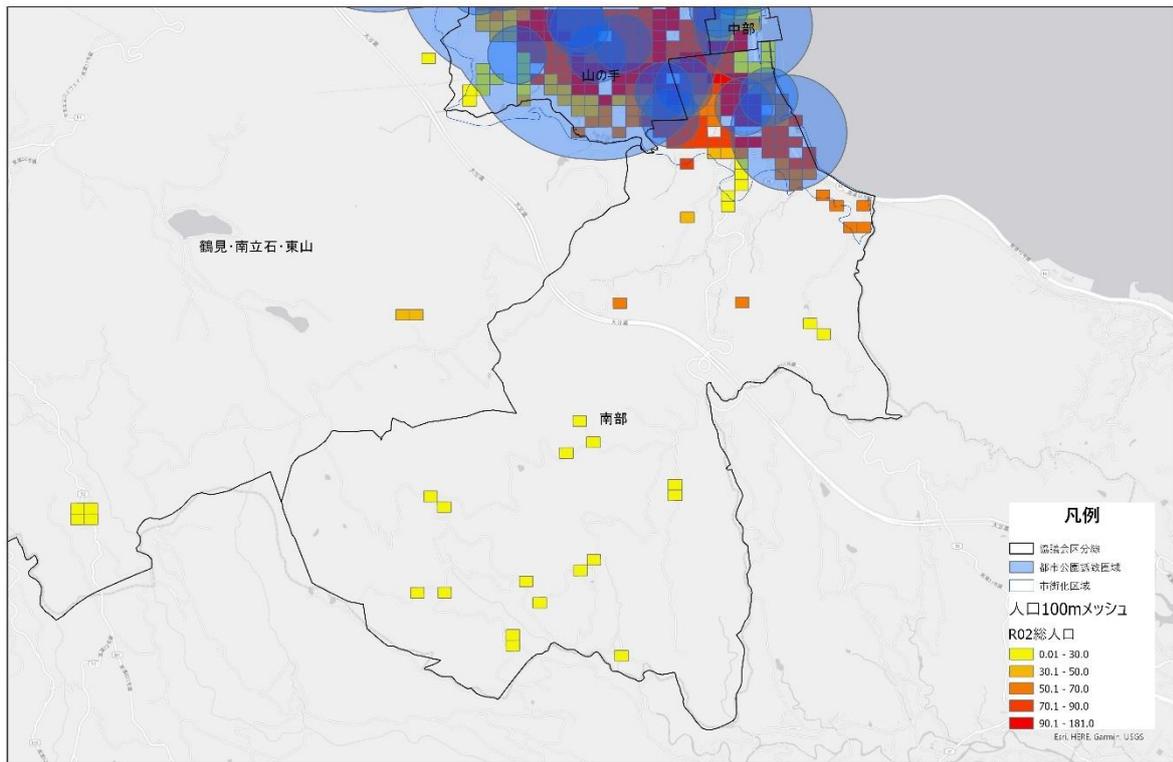


図 南部エリアにおける公園の誘致圏域カバー状況

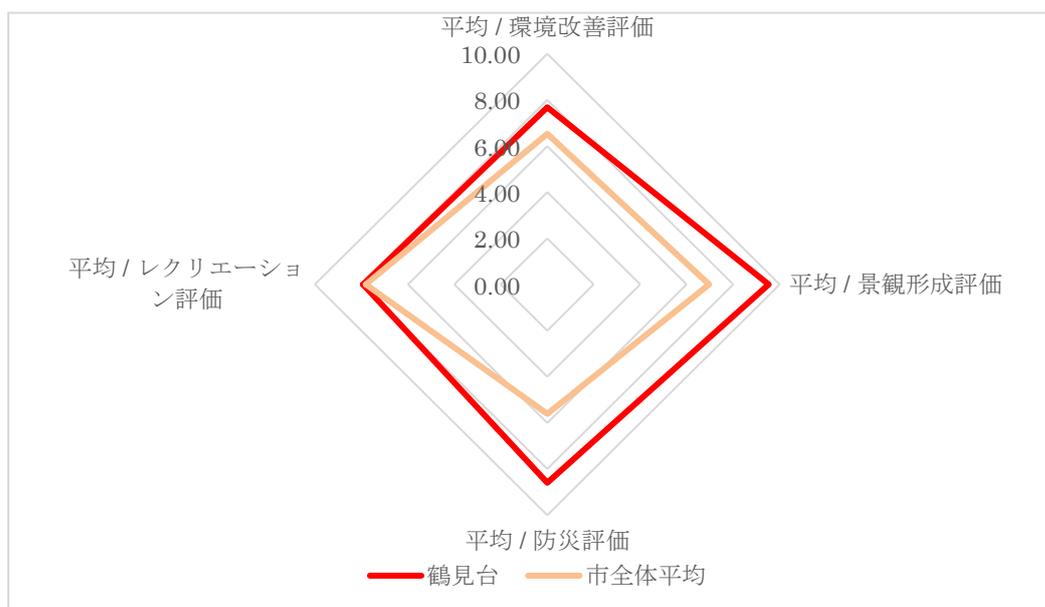
## ■鶴見台エリア

**公園の統廃合などの大規模な再編を行うことはせず、  
既存公園の適切な維持管理及び、質の向上を図ることを目指します**

鶴見台エリアは、人口も多く一人当たりの公園面積は低くなっていますが、隣接する中部エリアに実相寺中央公園、北部エリアに上人ヶ浜公園があるため、人口カバー率は100%であり全域をカバーできています。本エリアは住区基幹公園が多く配置されており、これらの都市公園の適切な維持管理と機能の拡充を行うことが重要となります。

そこで、本エリアは、既存公園の統廃合などの大規模な再編を行うことはせず、既存公園の適切な維持管理及び、質の向上を図ることを目指します。

エリア面積 (ha)	234.9	都市公園面積 (ha)	6.13
人口 (人)	15,990	一人当たり公園面積 (㎡/人)	3.83
市街化区域内の住区基幹公園の面積カバー率	97%	市街化区域内の住区基幹公園の人口カバー率	96%
市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の面積カバー率	100%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の人口カバー率	100%
市街化区域内の住区基幹公園のカバー面積重複率	57%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園のカバー面積重複率	86%
住区基幹公園のカバー空白率	5%	住区基幹公園と都市基幹公園のカバー空白率	0%
14歳以下人口割合	12%	14歳以下人口一人当たりの公園面積 (㎡/人)	31.90



▼鶴見台エリア公園リスト

	公園名	公園面積 (ha)	公園種別	開設年/ 最終整備年	経過年数
1	吉弘公園	0.33	街区公園	1983/3/31	42年
2	中須賀児童公園	0.25	街区公園	1983/3/31	42年
3	南原児童公園	0.2	街区公園	1983/3/31	42年
4	北石垣公園	1.98	近隣公園	1983/3/31	42年
5	南石垣公園	1.98	近隣公園	1992/3/31	33年
6	桐ノ木児童公園	0.17	街区公園	1993/3/31	32年
7	中須賀東町第1幼児公園	0.02	開発	2020/2/28	5年
8	春木川公園	0.25	近隣公園	2023/1/28	3年
	合計	5.18ha			

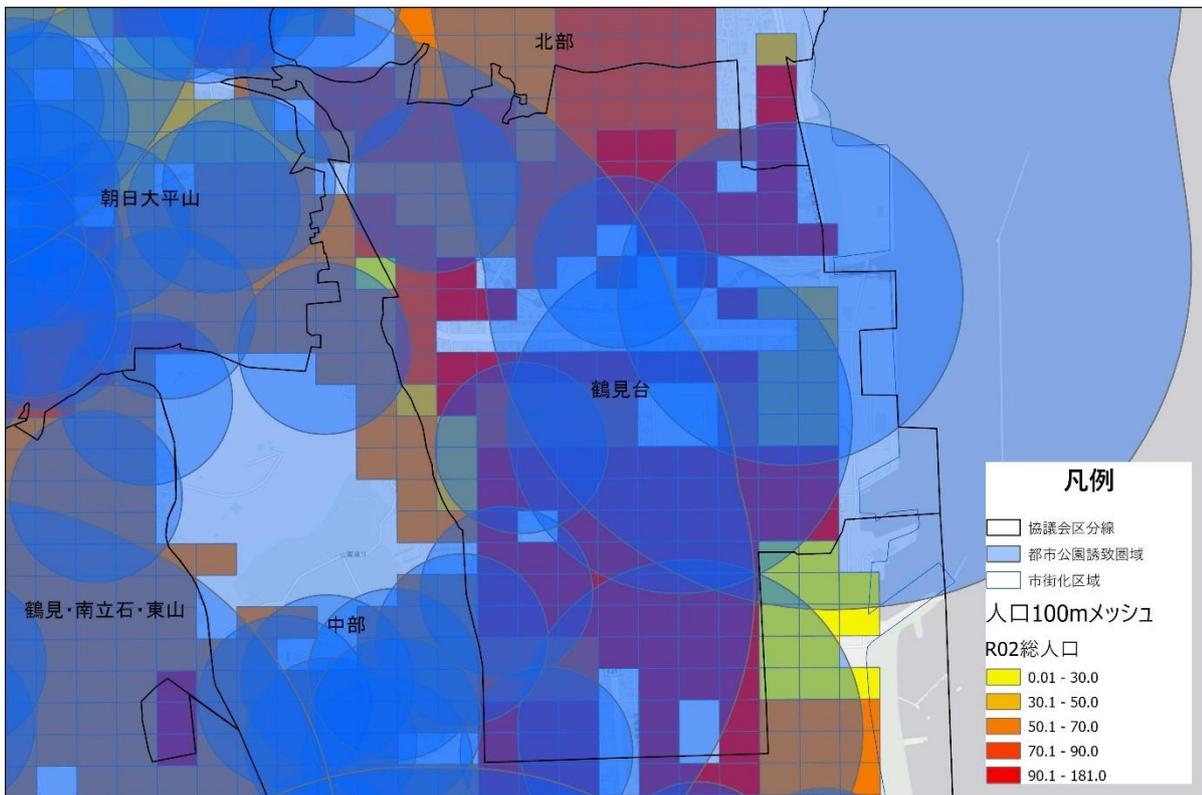


図 鶴見台エリアにおける公園の誘致圏域カバー状況

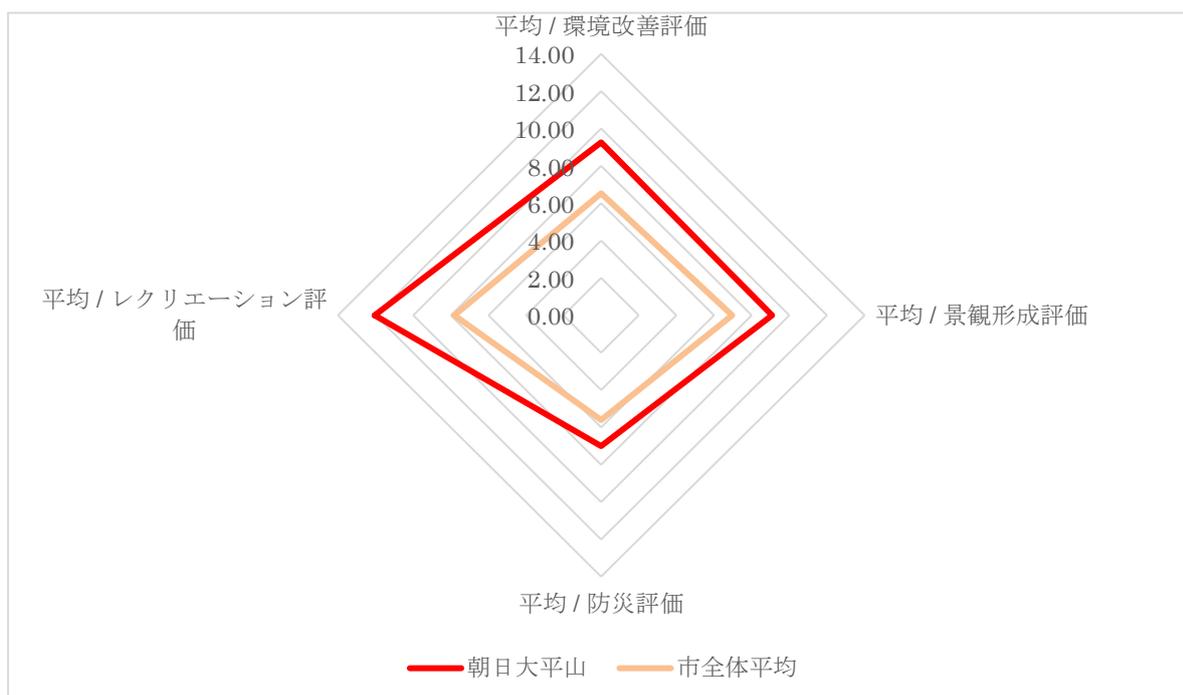
## ■朝日大平山エリア

**小さな公園も含めた公園の統合・再編により機能・質の向上を図るとともに、  
量についても確保することを目指します**

朝日大平山エリアは、公園のカバー空白率が高いですが、市街地となっている南東部においては、特殊公園である鉄輪地獄地帯公園があり、街区・近隣公園以外にも開発公園が多く配置されています。ただ、開発公園は、1つ1つの面積が非常に小さく、都市計画公園と比較し、公園機能が画一的であることから、十分な公園サービスの質が確保されているとは言えない現状があります。

そこで、本エリアは、開発公園も含めた公園の統合・再編により公園の機能・質の向上を図るとともに、量についても確保することが重要となります。

エリア面積 (ha)	2147.1	都市公園面積 (ha)	11.29
人口 (人)	19,102	一人当たり公園面積 (㎡/人)	5.91
市街化区域内の住区基幹公園の面積カバー率	62%	市街化区域内の住区基幹公園の人口カバー率	85%
市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の面積カバー率	98%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の人口カバー率	99%
市街化区域内の住区基幹公園のカバー面積重複率	44%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園のカバー面積重複率	63%
住区基幹公園のカバー空白率	84%	住区基幹公園と都市基幹公園のカバー空白率	70%
14歳以下人口割合	11%	14歳以下人口一人当たりの公園面積 (㎡/人)	51.48



▼朝日大平山エリア公園リスト

	公園名	公園面積 (ha)	公園種別	開設年（供用開始 年（最終））	経過年数
1	馬場第1 幼児公園	0.02	開発	1973/6/26	52 年
2	大畑第1 幼児公園	0.01	開発	1973/8/8	52 年
3	新別府第1 幼児公園	0.03	開発	1974/3/29	51 年
4	火売第1 幼児公園	0.02	開発	1975/2/22	50 年
5	鉄輪東第1 幼児公園	0.02	開発	1975/4/10	50 年
6	竹の内第1 幼児公園	0.12	開発	1975/6/24	50 年
7	小倉第1 幼児公園	0.04	開発	1975/11/8	50 年
8	大畑第2 幼児公園	0.01	開発	1976/2/4	49 年
9	竹の内第5 幼児公園	0.01	開発	1977/9/10	48 年
10	大畑第3 幼児公園	0.02	開発	1977/10/26	48 年
11	馬場第2 幼児公園	0.04	開発	1977/11/17	48 年
12	新別府第2 幼児公園	0.02	開発	1978/7/20	47 年
13	朝日ヶ丘第1 幼児公園	0.01	開発	1978/8/23	47 年
14	火売第2 幼児公園	0.02	開発	1979/6/8	46 年
15	馬場第3 幼児公園	0.01	開発	1980/3/24	45 年
16	竹の内第2 幼児公園	0.02	開発	1980/5/1	45 年
17	竹の内第3 幼児公園	0.03	開発	1980/5/1	45 年
18	竹の内第4 幼児公園	0.05	開発	1982/7/10	43 年
19	馬場第4 幼児公園	0.02	開発	1983/2/9	42 年
20	馬場第5 幼児公園	0.01	開発	1985/12/28	40 年
21	馬場第6 幼児公園	0.02	開発	1986/12/17	39 年
22	竹の内第8 幼児公園	0.01	開発	1994/9/21	31 年
23	竹の内第6 幼児公園	0.03	開発	1995/7/25	30 年
24	竹の内第7 幼児公園	0.02	開発	1996/1/17	30 年
25	竹の内第9 幼児公園	0.04	開発	1996/5/13	29 年
26	竹の内第10 幼児公園	0.03	開発	1999/7/1	26 年
27	新別府第3 幼児公園	0.02	開発	2000/10/20	25 年
28	鉄輪東第2 幼児公園	0.02	開発	2001/3/16	24 年
29	新別府第4 幼児公園	0.02	開発	2003/2/18	22 年
30	朝日公園	0.31	近隣公園	2004/3/31	21 年
31	鉄輪東第3 幼児公園	0.02	開発	2004/6/18	21 年
32	鉄輪東第4 幼児公園	0.02	開発	2004/6/18	21 年
33	竹の内第11 幼児公園	0.01	開発	2005/6/22	20 年
34	大谷公園	0.27	その他	2008/3/31	17 年
35	北中第1 幼児公園	0.01	開発	2009/3/31	16 年
36	大平山ふれあい広場	0.71	その他	2011/3/31	14 年

	公園名	公園面積 (ha)	公園種別	開設年（供用開始 年（最終））	経過年数
37	鉄輪東公園	0.53	その他	2012/3/31	13年
38	鉄輪湯けむり広場	0.09	その他	2012/3/31	13年
39	北中第2幼児公園	0.02	開発	2012/3/31	13年
40	火売第3幼児公園	0.01	開発	2020/2/28	5年
41	火売第4幼児公園	0.02	開発	2021/4/26	4年
42	火売第5幼児公園	0.02	開発	2021/4/26	4年
43	鉄輪地獄地帯公園	8.3	特殊公園 (イ)	2023/3/31	2年
44	馬場公園	0.22	街区公園	45382	1年
	合計	11.3ha			

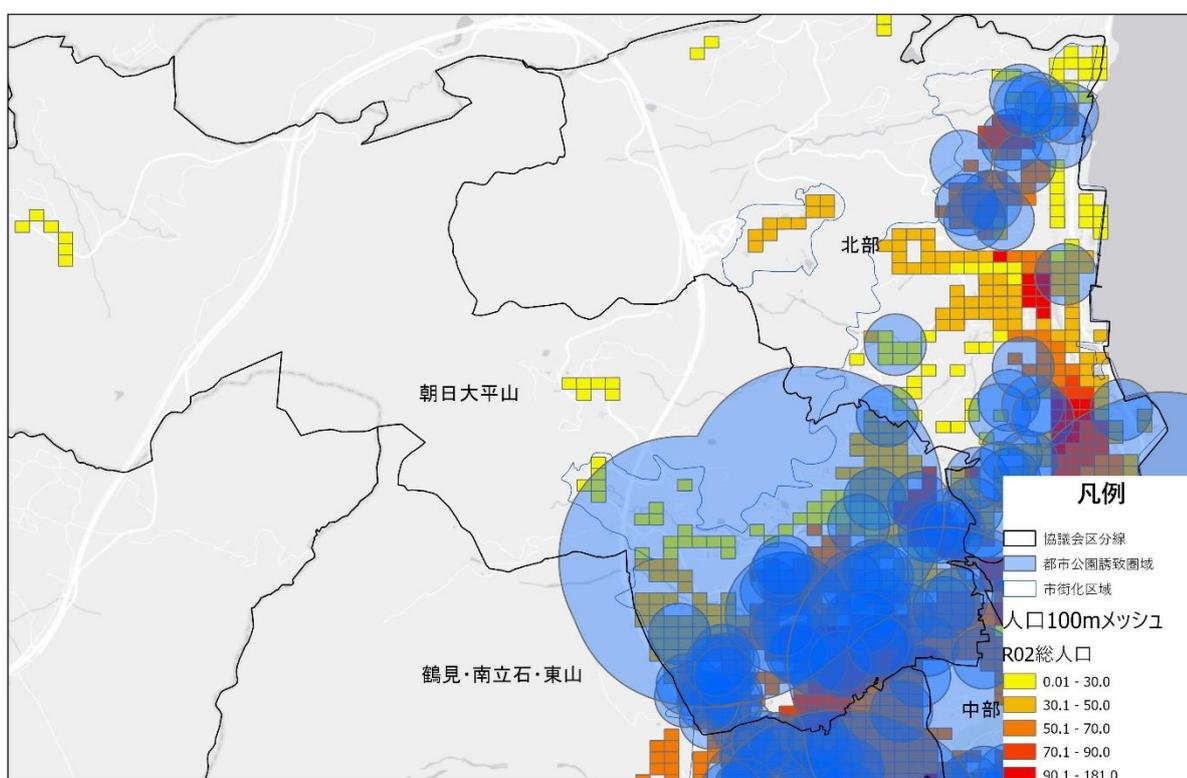


図 朝日大平山エリアにおける公園の誘致圏域カバー状況



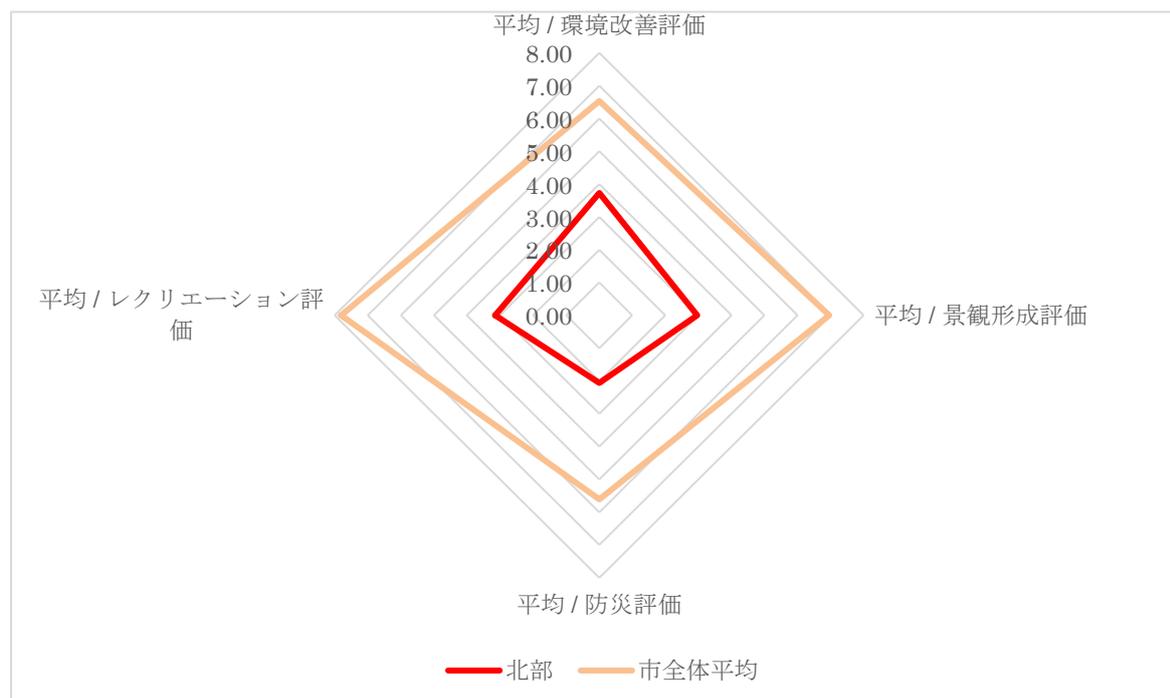
## ■北部エリア

小さな公園も含めた公園の統合・再編により機能・質の向上を図るとともに、量についても確保することを目指します

北部エリアは、開発公園などの小規模な公園が多いエリアとなっています。エリアの南側には上人ヶ浜公園があり、これによって一人当たり公園面積及び人口カバー率は向上していますが、北側は小規模な開発公園しかなく、公園機能としては偏在していると考えられます。

そこで、本エリアは、開発公園も含めた公園の統合・再編により公園の機能・質の向上を図るとともに、量についても確保することが重要となります。

エリア面積 (ha)	1505.4	都市公園面積 (ha)	9.65
人口 (人)	18,472	一人当たり公園面積 (㎡/人)	5.22
市街化区域内の住区基幹公園の面積カバー率	57%	市街化区域内の住区基幹公園の人口カバー率	71%
市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の面積カバー率	57%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の人口カバー率	71%
市街化区域内の住区基幹公園のカバー面積重複率	23%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園のカバー面積重複率	25%
住区基幹公園のカバー空白率	73%	住区基幹公園と都市基幹公園のカバー空白率	72%
14歳以下人口割合	9%	14歳以下人口一人当たりの公園面積 (㎡/人)	59.70



## ▼北部エリア公園リスト

	公園名	公園面積 (ha)	公園種別	開設年（供用開 始年（最終））	経過年 数
1	大観山第1 幼児公園	0.11	開発	1972/11/29	53 年
2	大観山第2 幼児公園	0.07	開発	1972/11/29	53 年
3	大観山第3 幼児公園	0.3	開発	1972/11/29	53 年
4	亀川四の湯町2 区第1 幼児公園	0.03	開発	1980/5/1	45 年
5	亀川四の湯町2 区第2 幼児公園	0.03	開発	1980/5/1	45 年
6	上平田第1 幼児公園	0.01	開発	1980/6/30	45 年
7	亀川中央町1 区第1 幼児公園	0.02	開発	1982/9/15	43 年
8	小坂第1 幼児公園	0.02	開発	1982/9/22	43 年
9	小坂第2 幼児公園	0.02	開発	1983/6/11	42 年
10	亀川四の湯町2 区第3 幼児公園	0.02	開発	1984/11/8	41 年
11	野田第1 幼児公園	0.03	開発	1985/3/30	40 年
12	小坂第3 幼児公園	0.02	開発	1985/6/26	40 年
13	関の江新町第1 幼児公園	0.38	開発	1985/12/18	40 年
14	スパランド豊海第1 幼児公園	0.09	開発	1986/6/11	39 年
15	亀川中央町1 区第2 幼児公園	0.02	開発	1986/8/21	39 年
16	古市第1 幼児公園	0.02	開発	1986/8/23	39 年
17	亀川東町緑地	0.94	その他	1989/3/31	36 年
18	浜田公園	0.19	その他	1989/3/31	36 年
19	内竈第1 幼児公園	0.01	開発	1990/12/1	35 年
20	スパランド豊海第2 幼児公園	0.13	開発	1991/6/8	34 年
21	スパランド豊海第3 幼児公園	0.38	開発	1991/6/16	34 年
22	大観山第4 幼児公園	0.05	開発	1993/4/17	32 年
23	野田第2 幼児公園	0.02	開発	1993/7/7	32 年
24	古市第2 幼児公園	0.02	開発	1994/9/16	31 年
25	野田第3 幼児公園	0.02	開発	1995/2/6	30 年
26	内竈第2 幼児公園	0.02	開発	1995/12/28	30 年
27	小坂第4 幼児公園	0.02	開発	1996/2/26	29 年
28	内竈第3 幼児公園	0.19	開発	1999/9/4	26 年
29	北鉄輪第1 幼児公園	0.03	開発	2002/11/16	23 年
30	上人ヶ浜公園	6.38	地区公園	2003/3/31	22 年
31	古市第3 幼児公園	0.06	開発	2004/4/1	21 年
	合計	9.65ha			

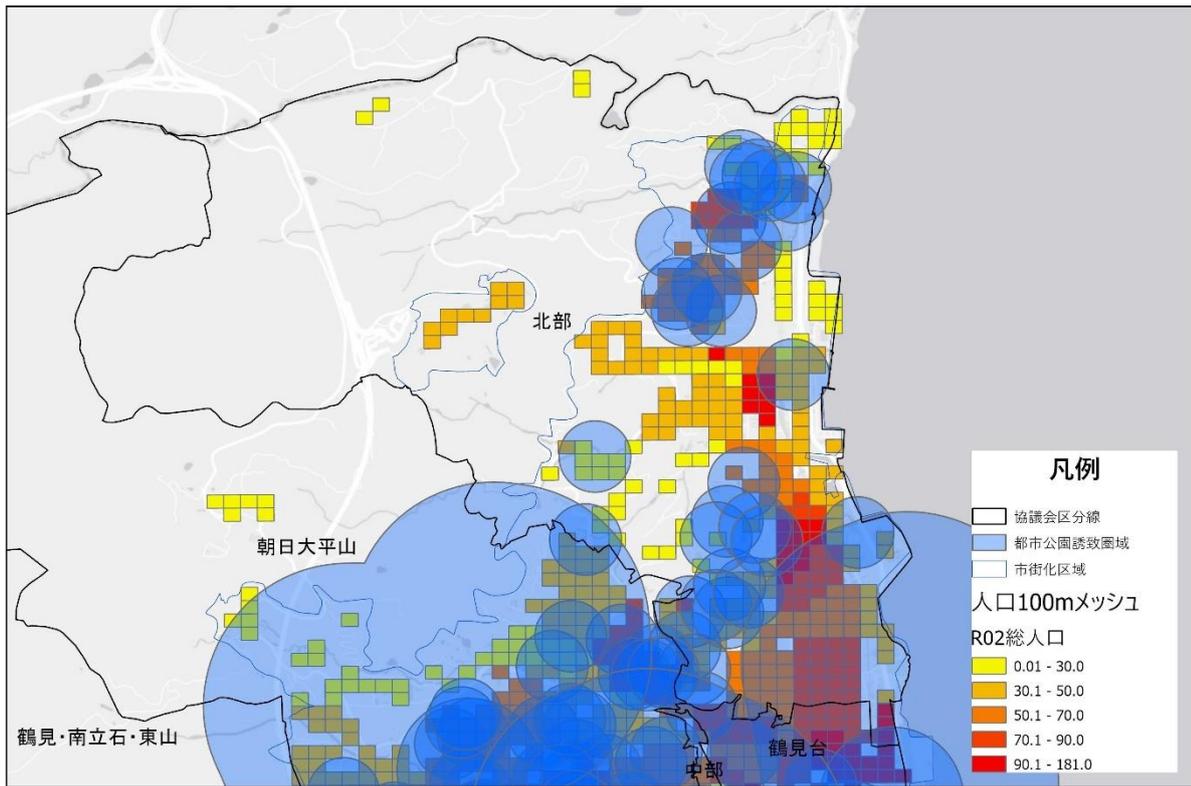
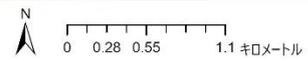


図 北部エリアにおける公園の誘致圏域カバー状況



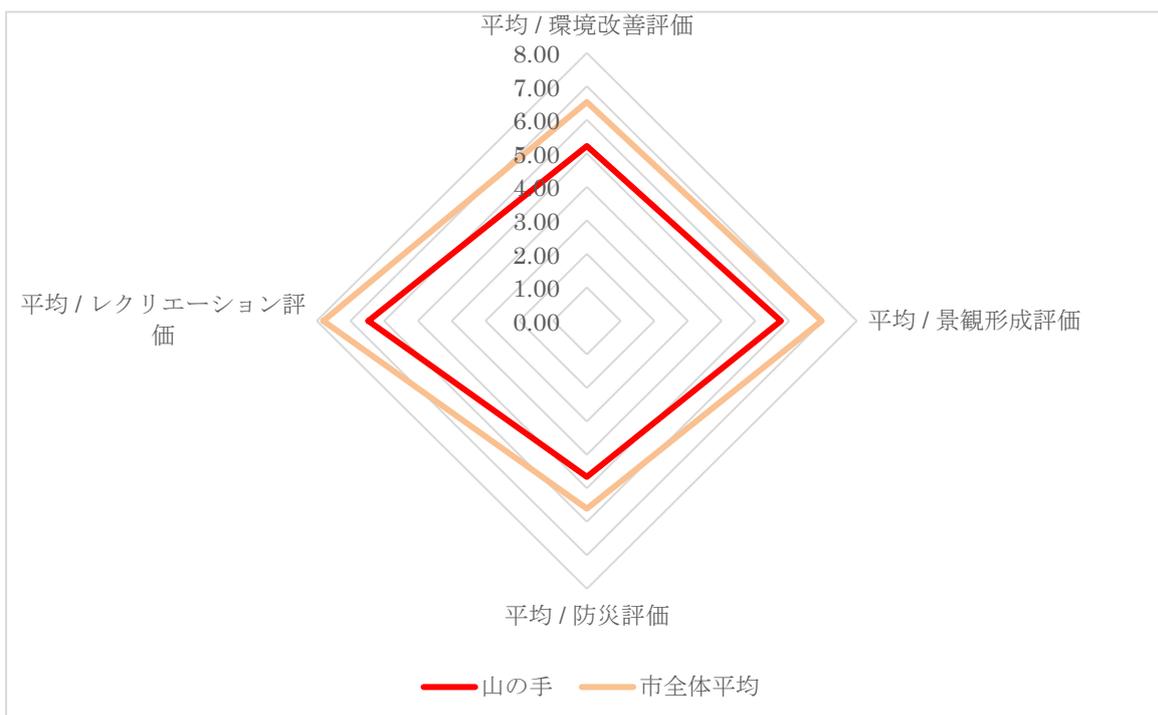
## ■山の手エリア

**公園の統廃合などの大規模な再編を行うことはせず、  
既存公園の適切な維持管理及び、質の向上を図ることを目指します**

山の手エリアは、別府公園が位置しており、公園サービスの提供という観点からは充実したエリアと言えます。一人当たり公園面積及び人口カバー率なども高い水準となっており、現状を維持していくことが重要となります。

そこで、本エリアは、既存公園の統廃合などの大規模な再編を行うことはせず、既存公園の適切な維持管理及び、質の向上を図ることを目指します。

エリア面積 (ha)	344.2	都市公園面積 (ha)	27.78
人口 (人)	16,793	一人当たり公園面積 (㎡/人)	16.54
市街化区域内の住区基幹公園の面積カバー率	41%	市街化区域内の住区基幹公園の人口カバー率	45%
市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の面積カバー率	99%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の人口カバー率	100%
市街化区域内の住区基幹公園のカバー面積重複率	18%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園のカバー面積重複率	41%
住区基幹公園のカバー空白率	60%	住区基幹公園と都市基幹公園のカバー空白率	3%
14歳以下人口割合	11%	14歳以下人口一人当たりの公園面積 (㎡/人)	155.89



▼山の手エリア公園リスト

	公園名	公園面積 (ha)	公園種別	開設年/ 最終整備年	経過年数
1	原町第1 幼児公園	0.02	開発	1976/12/29	49 年
2	青山第1 幼児公園	0.03	開発	1981/1/14	45 年
3	山田公園	0.16	街区公園	1983/3/31	42 年
4	山の手第1 幼児公園	0.11	開発	1983/11/16	42 年
5	別府公園	27.29	総合公園	1995/3/31	30 年
6	青山第2 幼児公園	0.01	開発	2000/7/5	25 年
7	青山第3 幼児公園	0.03	開発	2006/2/3	19 年
8	上田の湯第1 幼児公園	0.03	開発	2007/8/1	18 年
9	光町西広場	0.04	その他	2009/3/31	16 年
10	山の手第2 幼児公園	0.02	開発	2013/3/31	12 年
11	山の手第3 幼児公園	0.04	開発	2020/2/28	5 年
	合計	27.78ha			

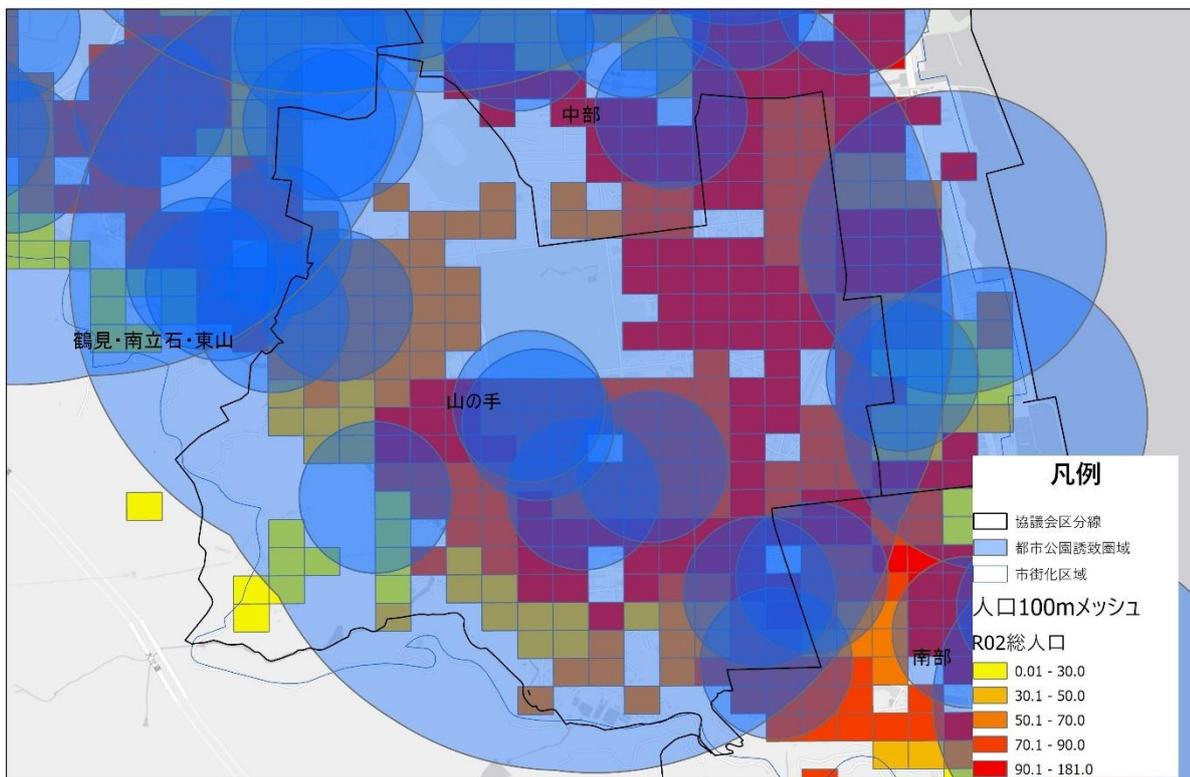
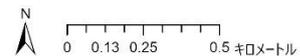


図 山の手エリアにおける公園の誘致圏域カバー状況



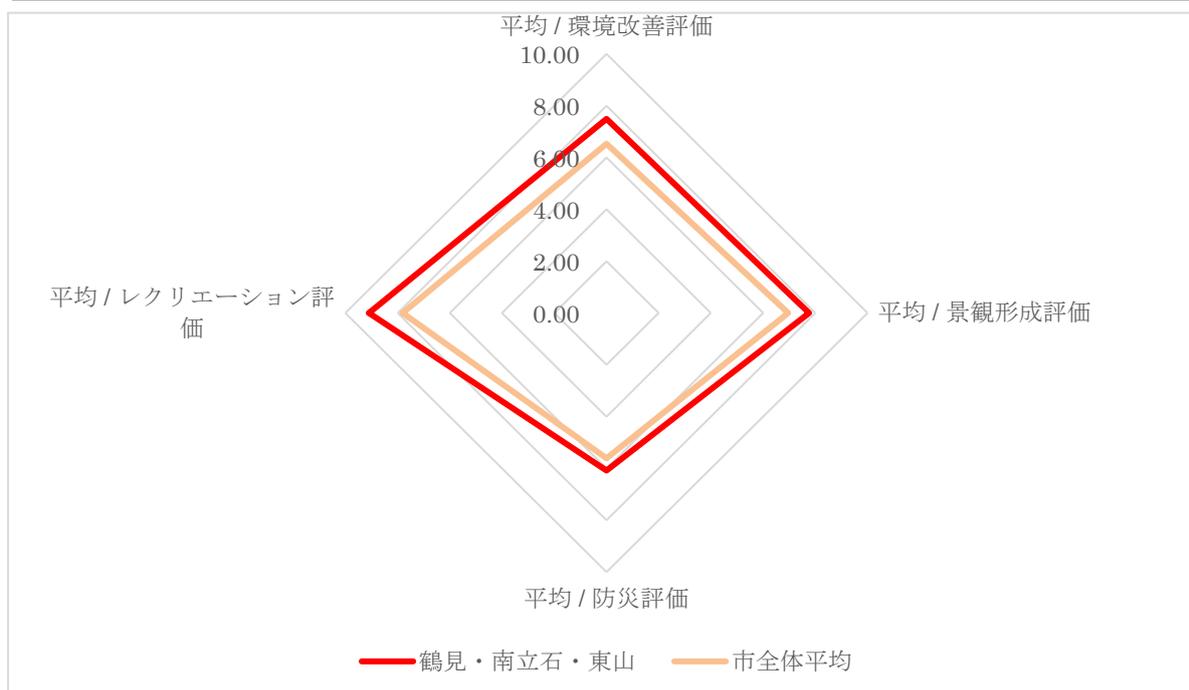
■鶴見・南立石・東山エリア

小さな公園も含めた公園の統合・再編により機能・質の向上を図るとともに、量についても確保することを目指します

鶴見・南立石・東山エリアは、エリア面積に対して公園が位置しているのは東側のみと、偏在しているように見受けられますが、土地利用の実態として、居住エリアに開発公園や南立石公園が位置しているなど、カバー空白率などの数字に対して、人口カバー率が高い状況が見受けられます。しかし、この東側のエリアは、14歳以下人口割合が高く、現在の開発公園等の小規模な公園だけでは、適切な公園サービスを提供できているとは言えない状況です。

そこで、本エリアは、開発公園も含めた公園の統合・再編により公園の機能・質の向上を図るとともに、量についても確保することが重要となります。

エリア面積 (ha)	6468.9	都市公園面積 (ha)	14.39
人口 (人)	20,168	一人当たり公園面積 (㎡/人)	7.14
市街化区域内の住区基幹公園の面積カバー率	64%	市街化区域内の住区基幹公園の人口カバー率	73%
市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の面積カバー率	90%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園の人口カバー率	95%
市街化区域内の住区基幹公園のカバー面積重複率	35%	市街化区域内の住区基幹公園と都市基幹公園のカバー面積重複率	78%
住区基幹公園のカバー空白率	95%	住区基幹公園と都市基幹公園のカバー空白率	91%
14歳以下人口割合	12%	14歳以下人口一人当たりの公園面積 (㎡/人)	60.80



## ▼鶴見・南立石・東山エリア公園リスト

	公園名	公園面積 (ha)	公園種別	開設年（供用開始 年（最終））	経過年数
1	扇山第2 幼児公園	0.1	開発	1972/7/23	53 年
2	南荘園第1 幼児公園	0.03	開発	1972/10/3	53 年
3	扇山第1 幼児公園	0.05	開発	1974/9/2	51 年
4	扇山第3 幼児公園	0.02	開発	1976/9/30	49 年
5	扇山第4 幼児公園	0.01	開発	1979/10/20	46 年
6	扇山第5 幼児公園	0.01	開発	1980/5/1	45 年
7	南立石1 区第1 幼児公園	0.01	開発	1980/5/1	45 年
8	扇山第6 幼児公園	0.01	開発	1983/1/19	43 年
9	南立石生目第3 幼児公園	0.01	開発	1983/8/3	42 年
10	鶴見第2 幼児公園	0.26	開発	1986/5/24	39 年
11	鶴見第3 幼児公園	0.14	開発	1986/5/24	39 年
12	鶴見第1 幼児公園	0.04	開発	1986/11/19	39 年
13	扇山第7 幼児公園	0.02	開発	1994/6/15	31 年
14	扇山第8 幼児公園	0.02	開発	1997/9/3	28 年
15	扇山第9 幼児公園	0.02	開発	2000/1/13	26 年
16	南立石1 区第3 幼児公園	0.02	開発	2006/4/26	19 年
17	扇山第10 幼児公園	0.03	開発	2008/3/29	17 年
18	荘園第1 幼児公園	0.01	開発	2010/3/31	15 年
19	南荘園町第2 幼児公園	0.03	開発	2010/3/31	15 年
20	南立石公園	10.78	総合公園	2012/3/31	13 年
21	前八幡児童公園	0.36	街区公園	2013/3/31	12 年
22	南立石1 区第2 幼児公園	0.08	開発	2013/3/31	12 年
23	生目広場	0.06	その他	2014/3/31	11 年
24	南立石2 区第1 幼児公園	0.1	開発	2014/3/31	11 年
25	南立石生目第1 幼児公園	0.09	開発	2014/3/31	11 年
26	南立石生目第2 幼児公園	0.01	開発	2014/3/31	11 年
27	南立石板地町第1 幼児公園	0.02	開発	2014/3/31	11 年
28	境川緑地	1.93	緑道	2015/3/31	10 年
29	南立石1 区第4 幼児公園	0.04	開発	2019/3/29	6 年
30	鶴見第4 幼児公園	0.04	開発	2020/2/28	5 年
31	扇山第11 幼児公園	0.02	開発	2022/3/31	3 年
32	扇山第12 幼児公園	0.02	開発	2023/6/8	2 年
	合計	14.39ha			

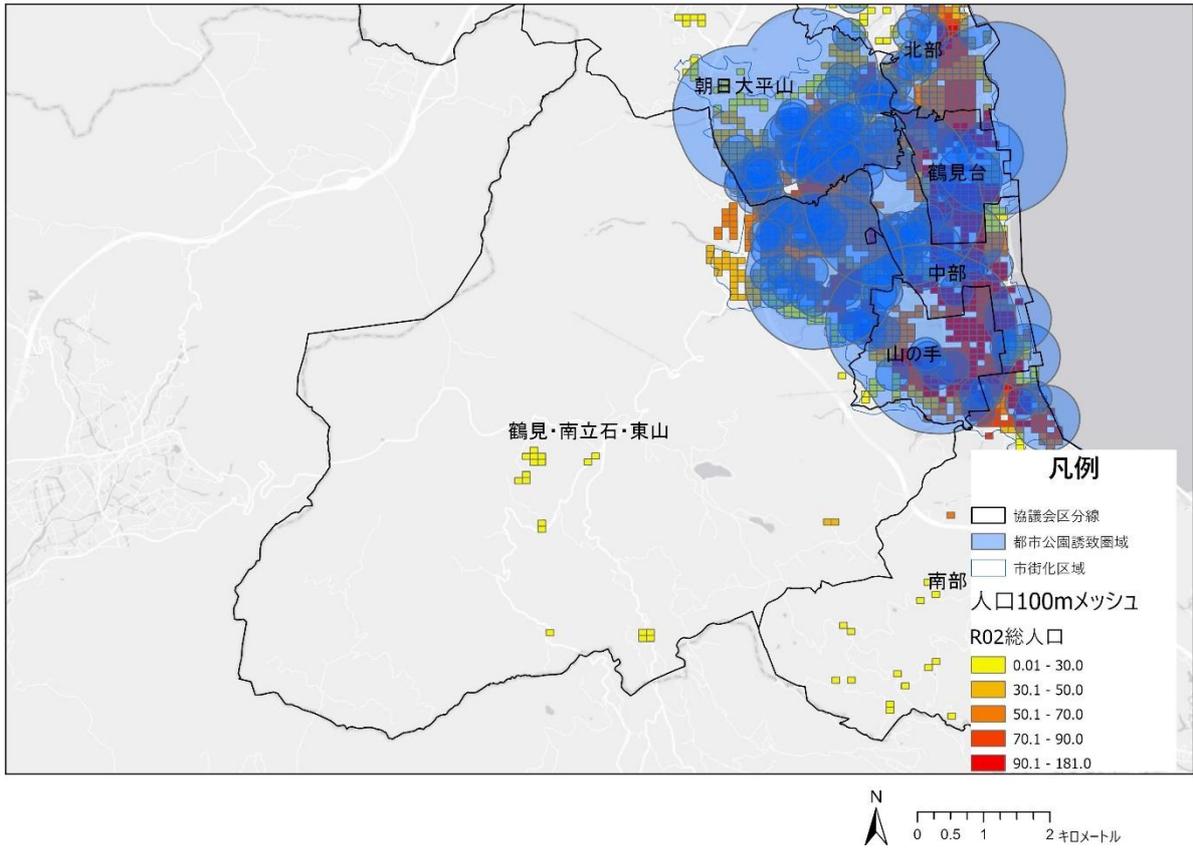


図 鶴見・南立石・東山エリアにおける公園の誘致圏域カバー状況